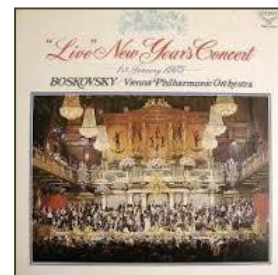




シュトラウス・ファミリーの功績を称えるウィーン・フィルのニューイヤー・コンサートの創始者は、クレメンス・クラウス(1893-1954)。1939年の大晦日に新年の到来を祝してシュトラウス・コンサートの指揮を行った。新年の元旦にコンサートを初めて行ったのは1941年1月1日のことであり、これがニューイヤー・コンサートの正式な始まりである。



ヨハン・シュトラウス二世 生誕 150 周年記念
“ライブ” ニューイヤー・コンサート
 —— 1975年1月1日 ——
 ウィリー・ボスコフスキー指揮
 ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団



※1955年から1979年まで25回、ニューイヤー・コンサートの指揮者として活躍（1909年～1991年）

- 1.爆発ポルカ 作品43 /1847年まだ22歳のヨハン二世が作曲した愉快的なポルカ。
- 2.アンネン・ポルカ 作品117 /ヨハン二世の出世作ともいえるポルカ。
- 3.ポルカ うわ気心 作品319
- 4.ポルカ 狩り 作品373 /鉄砲の音もくわえて気分を盛り上げている。
- 5.歌劇 騎士パスマン 作品441 /チャールダーシュ
- 6.常動曲 作品257 / ”音楽のいたずら“という副題が付けられており、曲に終わりがなく何回でも頭に戻って演奏できるようになっている。
- 7.ポルカ 観光列車 作品281 /1864年、新しく観光列車が運転されることになり、開通式の為に書かれたユーモラスなポルカ。
- 8.ラデツキー行進曲 作品228 /「ワルツ王」の父ヨハン一世のあまりに有名な行進曲。1848年にラデツキー将軍の凱旋を祝って作曲された。

オーボエが好き

ハインツ・ホリガー(オーボエ) [1939年5月～] ドレスデン国立管弦楽団

- ① ルクレール (1697～1764) オーボエ協奏曲 ハ長調作品7の3 I・II・III楽章
- ② マルチェロ (1686～1739) オーボエ協奏曲 二短調 I・II・III楽章